榛名神社散策マップ

①本殿（本社・弊殿・拝殿）

国指定重要文化財

本社・弊殿・拝殿は文化3（1806）年に建てられた権現造の建物で、御姿岩の前面に接して建てられた他に例を見ない珍しい建造物です。御姿岩内の洞窟を神聖な本殿として御神体が祀られています。建物は朱と黒を基調として要所に金箔や多彩な色彩が施され、脇障子の「竹林の七賢人」や司馬温公の図など数多くの彫刻で飾られ、天井には天井画が画かれています。

②神楽殿

国指定重要文化財

神楽は神に奉納するために奏上されるので本殿に向って建てられています。床は板張り三方向を吹き放し、天井には花鳥獣や神楽面が描かれています。明和元年（1764）年の再建。

③国祖社・額殿

国指定重要文化財

享保年間（1716-35）に建てられ、神仏習合時代は本地堂と呼ばれ本地仏の勝軍地蔵が祀られていました。額殿は文化11（1814）年に御神楽拝見所として増築されました。現在は奉納額が多く掲げられることから額殿と呼ばれています。

④双龍門（そうりゅうもん）

国指定重要文化財

本来は御唐門。扉の彫刻や天井絵に龍が多く双龍門と呼ばれる。透かし彫りは、三国志にちなんだものといわれています。
総ケヤキ造り、安政2（1855）年の造営。

⑤御水屋（おみずや）

この水は瓶子の滝と同じ榛名山麓の天然水で、萬年泉の水とともに古くから、御神水として、多くの人々に使用されています。

⑥矢立杉（やたてすぎ）

国指定天然記念物

武田信玄が戦勝祈願のため矢を射立てたという言い伝えがある。高さ55m、目通り9.4m、樹齢600年（推定）を誇ります。

⑦瓶子の滝（みすずのたき）

滝の流れている両脇の岩を神に捧げる神酒を入れる器の瓶子（みすず）に見立て、そこから落ちる滝ということでその名が付きました。

⑨随神門（ずいしんもん）

国指定重要文化財

もともとは仁王門。神仏分離により仁王像が取り除かれ、その後 随神像が置かれました。弘化4（1847）年の再建。

バス停　駐車場
トイレ　門前そば

⑧塩原太助の玉垣

江戸時代に炭事業で成功した塩原太助は榛名神社へのお参りがご利益があったとし報恩のために石灯篭も奉納しています。
「沼田城下の塩原太助」、上毛カルタでも県民に親しまれています。

湧水と地粉で打った絶品そば「榛名神社門前そば」

門前そば（盛り蕎麦）…800円～

榛名神社の門前である社家町では、江戸時代に蕎麦をもてなし料理の一つとして振る舞っていたことから蕎麦を復活させ、この地域の名物となっています。榛名産の地粉を使った蕎麦で、榛名山の湧水で打ったのど越しの良い手打ち蕎麦です。